

令和4年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立東蒲中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・既習漢字の書き取りが少しずつ定着してきた。
- ・現代語訳を手掛かりに古典を読む力がついてきた。

(2) 課題

- ・語彙を増やし、自分の伝えたいことを的確に書いたり、表現したりすること。
- ・文章の構成、全体と部分との関係を捉えて読むことができないこと。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第1学年	(1)小学校で学習する漢字が定着していない。 (2)熟語の成り立ちについての知識が定着していない。	/	/
第2学年	話し合いの展開を理解し、互いの発言を結びつけて考えること、読み取った内容を明確に書くことが目標値より下回った。	話の内容を聞き取ること、話すこと、作文の正答率が目標値より下回った。	/
第3学年	(1)文章全体と部分との関係に注意しながら内容を捉える。 (2)敬語が目標値を下回った。	漢字を書く、新聞記事を書く、作文の問題で目標値を下回った。	話の内容を聞き取ること、漢字を書くこと、作文の正答率が目標値を下回っている。記述する力に課題がある。

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)小学校で学習した漢字が定着していない。 (2)熟語の成り立ちについての知識の定着ができていない。	自分の考えの理由を明確にして書くことができていない。原因は普段から根拠をもって考えを形成する習慣がないからだと考えられる。	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができていない。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の書き取り、文法問題、敬語が目標値に達していない。知識の定着不足が主な原因だと考えられる。	聞きとったこと、読み取ったことを自分の言葉でまとめることに関する問題の正答率が目標値を下回っている。書く力が足りていないことが原因と考えられる。	書き表し方を工夫して書くこと、自分の意見を明確にして書くことに課題がみられる。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)漢字の読み書きに課題が見られる。 (2)敬語の知識の定着ができていない。	(1)読み取った内容を明確にして書くことに課題が見られる。 (2)文章全体と部分との関係を理解できていない。	論理の展開に注意して聞き、自分の考えをまとめることに課題が見られる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業の冒頭で漢字の読み書きの練習時間を設ける。また、週1回漢字小テストを行い知識の定着を図る。	自分の考えの理由を明確するために、一文を短く書かせたり、考えと理由を分けて書かせたりする。	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫するように指導していく。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字テストを抜き打ち方式にし、かつ繰り返しテストを行うことで、確実に書ける力を養う。間違えた漢字については、授業中に練習を行う。文法に関しても、ICTを活用した反復問題に取り組み、知識を定着させる。	「読む・聞く・書く」をバランス良く、かつ連携させて学習する。特に課題となっている「書く」力の育成については、目的意識をもって文章を書かせることを目指す。また、読書活動を推進し、語彙力を高めることで、表現力を身に付けさせる。	考えをまとめる力を育むために、考えをまとめる時間を毎授業設ける。また、話を聞く際にメモを取る習慣をつけさせ、話の要点を聞き取れるように指導する。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)授業の冒頭で漢字の読み書きの練習時間を設ける。また、週1回漢字小テストを行い知識の定着を図る。 (2)定期的に敬語の知識の復習を行い、反復することで定着を図る。	(1)毎時間を文章書かせることで書くことに慣れさせる。その中で、意見と事実、理由と根拠等の書き分けを指導していく。	考えをまとめる力を育むために、考えをまとめる時間を毎授業設ける。また、話を聞く際にメモを取る習慣をつけさせ、話の要点を聞き取れるように指導する。